

令和3年度 事業計画

特定非営利活動法人 長野サマライズ・センター

令和2年10月1日から令和3年9月30日まで

1. 事業の方向性

- 新型コロナウイルスの影響で、行事や催し物の開催手法にも大きな変化が生まれている。ビジネスの現場ではテレワークの体制が進み、教育現場でも、オンライン形式の授業が数多く実施されることとなった。
任意団体から20年、遠隔支援サービスに取り組んでから10年、いち早く「聴覚障がい児・学生」への遠隔支援サービスの提供体制を整えてくれたことをバネに、新たな支援活動の在り方を模索し、実現していく。
まずは、長野県教育委員会と協力して、普通高等学校に在籍する難聴学生の支援を実現させる。
- 一方で、コロナ禍の影響を受け、会費収入、寄附金収入の大幅な減少が予想されている。少しでも、理解と認知を広めるため、会員・寄附者の皆さんのお力もお借りして、「初等中等教育現場での難聴児支援活動」として、これからも息長く、地道に、一歩ずつでも、多様な支援の存在、支援者の存在、などを広く届けるため、サポートブックの制作などの啓発活動を継続する。
- 社会の課題が複雑化・多様化しており、1組織だけでは解決できない課題も多く、今後、多様な組織と手を取り合っていく事業で、課題解決に一歩ずつでも前に進んでいけるよう、自法人としては新たなチャレンジになる、『オンライン教材事業』の普及・発展への協力体制を検討していく。

2. 事業実施に関する事項

○ 特定非営利に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施場所	従事者 の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
パソコン要約筆記通訳者の派遣を行う事業	要約筆記委託事業	R2.10.1 ~R3.9.30	事務所、 県施設、各市町村施設	20名	全国 3000名	300
パソコン要約筆記通訳の人材発掘と育成事業	養成講座実施・勉強会の運営	R2.10.1 ~R3.9.30	事務所、遠隔、大学 長野、塩尻、明石	6名	長野県を中心とする全国 100名	200
IT技術の福祉分野への活用を推進する事業	情報収集と提供	R2.10.1 ~R3.9.30	事務所等、WEB	4名	全国活動者・支援団体、企業等 1000名	200
要約筆記・パソコン要約筆記についての相談と助言に関する事業	全国パソコン通訳者のネットワーク化	R2.10.1 ~R3.9.30	事務所等	4名	全国活動者・支援団体、企業等 200名	900
障害者・青少年の生きがい作りと人材育成事業	教育現場での授業サポート	R2.10.1 ~R3.9.30	筑波技術大学・信州大学 全国小中学校	20名	聴覚障害児童・ 学生 350名	1600
	テープ起こし データ入力	R2.10.1 ~R3.9.30	事務所等	12名	地域住民 市町村等 150名	3000
	助成事業	R2.10.1 ~R3.9.30	全国各地	20名	聴覚障害者・児 全国活動者等 200名	1200
その他、目的達成のために必要な事業	PR活動	R2.10.1 ~R3.9.30	事務所等	6名	依頼側、参加者 聴覚障害者、市民 7000名	300
	助成事業等	R2.10.1 ~R3.9.30	事務所等	4名	依頼者、参加者、 聴覚障害者等 1000名	700
一般管理費	事務作業等 諸経費	R2.10.1 ~R3.9.30	事務所等	4名	30名	600